一般会計補正予算（第１号）について

新型コロナウイルス感染症の収束時期が未だに見通せない状況において、引き続き住民生活等を守るため、新型コロナウイルス感染症総合対策事業等に係る予算を編成し、６月８日（水）開催の町議会定例会において、総額51,746千円の補正予算が可決されました。

歳 入（　５１，７４６千円　）

１　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　　３３，５５５千円

※　令和４年度交付限度額は、令和３年度の残額分（42,000千円）と今回新たに追加で示された国の緊急対策分（54,472千円）の計96,472千円です。補正予算（第１号）への計上額（33,555千円）を除いた額（62,917千円）については、今後、追加で必要となる感染症総合対策事業への計上や当初予算に計上済みの事業への財源補正として、補正予算を提案していく予定です。

２　新型コロナウイルスワクチン（４回目）接種に係る国庫支出金　　１１，９３９千円

３　その他（消防団員退職報償金基金収入ほか）　　６，２５２千円

歳 出（　５１，７４６千円　）

１　新型コロナウイルス感染症総合対策事業　　３３，５５５千円

（１）地域経済活動を守るための取組み　　２，６００千円

商工振興商品券発行事業補助金【増額】　　２，０００千円

コロナ禍で停滞する町内の経済に対し、消費者負担の軽減を図るとともに、地域経済の底上げと好循環を促すために町商工振興会が実施するプレミアム付き商工振興商品券発行事業（プレミアム率　20%）において、発行規模の増額を支援します。

観光施設オンラインシステム導入費補助金　　６００千円

ウィズコロナ・ポストコロナ対応として、観光需要に対応し地域経済の活性化を図るため、オンライン予約システムの導入やキャッシュレス化に伴う決済端末（バーコードリーダー、非接触リーダーライター、レシートプリンター）の整備を行う町内観光事業者に対し、整備費の 1/2（50,000 円限度）を補助するものです。

（２）住民生活を守るための取組み　　１９，８６２千円

子育て応援給付金【増額】　　１，８００千円

コロナ禍に加え物価高騰の状況下において、おむつ等衛生用品がまだまだ必要な２歳児に対し、今年度に限り０～1 歳児と同様に育児用品の購入に係る支援を実施します。（対象児童１人に対し３万円を給付）

水道基本料金減免に要する経費　　１４，２２８千円

新型コロナウイルス感染症の流行による巣ごもり需要の増加や、感染症予防のための手洗いうがいの実施による水道使用量の増加に伴う町民の皆様の生活への負担を軽減するために、６月から９月までに使用した水道料金の基本料金（２期分）の減免を実施します。

また、湯の沢地区にお住まいで秦野市水道局より水道水の供給を受けている方も同様に、６月から９月までに使用した水道料金の基本料金（２期分）にあたる金額を補助します。

消耗品（ヤマビル忌避剤（環境対策費））　　５４０千円

コロナ禍による行動制限を踏まえ、健康維持のために住まい周辺で行われる運動（ウォーキングなど）においてはヤマビルが支障となるため、忌避剤を配布することで、地域住民の健康づくりを支援します。

保育施設食育支援事業補助金　　３２４千円

友だちと共に一緒に食事をする喜びの中で、料理をおいしく食べる食育の場である給食の変わらぬ質や量を保つため、主食費及び副食費の一部（一割相当分）を７月から３月までの９カ月間補助していきます。

給食費保護者負担特別軽減措置補助金　　２，６２４千円

町立小・中学校に就学している児童生徒、及び幼稚園に就園している園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、コロナ禍の影響等による給食食材高騰の見込 10%以内を上限とし、７月から３月までの８カ月分（８月分を除く）の給食費１人当たりの保護者負担分を各学校・幼稚園の給食会計へ補助する。

物価高騰の影響を受け給食費を値上げすることなく、給食の質を落とさず円滑に給食を提供する。

修学旅行等感染対策補助金　　３４６千円

修学旅行の実施にあたり、臨時電車から貸し切りバスへの変更など、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減に取り組むために必要な費用の増額分を補助する。

（３）ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応　　１１，０９３千円
松田中学校トイレ洋式化工事　ほか　　１１，０９３千円

ウィズコロナ・ポストコロナ対応として、施設のトイレを洋式化します。
・寄幼稚園
・寄小学校
・松田中学校　ほか

２　新型コロナウイルスワクチン（４回目）接種事業　　１１，９４０千円
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費【増額】　　１１，９４０千円

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（４回目接種）に係るシステム改修費、接種券（クーポン券）発送に係る経費、ワクチン接種委託料を計上しています。

３　その他（退職消防団員報償金ほか）　　６，９９８千円
４　予備費　　△７４７千円